

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
地域理学療法学		必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
三科 貴博 他	D317	t.mishina	火曜日 12 : 10~13 : 00		
授業の目的・概要	理学療法は病院に入院している患者のみならず、地域で生活している方も対象になる。地域で生活する方の生活自立支援が行えるように、地域理学療法学では、同時双方向型授業を通して介護保険をはじめとした法制度を学び、福祉用具の導入方法などを理解すること、また対象者に対する理学療法を説明できることを目的とする。授業は、まず地域の概念について説明し、その後地域分野における理学療法の展開について解説する。				
学習上の助言	これまで学習してきた各疾患についての概要および理学療法の評価や治療の内容を復習しておくことが望ましい。				
教科書	標準理学療法学 地域理学療法学 第4版/監:奈良勲/編:牧田光代、金谷さとみ/医学書院/2018				
参考書	1.PT・OT ビジュアルテキスト 地域理学療法学/重森健太/羊土社/2015 2. 標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学 第5版/著:奈良勲/編:鶴見隆正、隆島研吾/医学書院/2017				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	介護保険をはじめとした法制度を理解できる。		PT (2)、(3)、(4)、(5)、(6)		
②	社会資源、福祉・リハビリテーション関連用具などの導入方法を説明できる。		PT (2)、(3)、(4)、(5)、(6)		
③	各疾患、ステージ (施設入所など) における対象者の理学療法評価や介入方法について説明できる。		PT (2)、(3)、(4)、(5)、(6)		
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	地域の概念と地域包括ケアシステムの仕組みについて学ぶ。	同時双方向型授業	地域包括ケアシステムを中心に講義内容を復習する。	4	
2	介護保険の仕組みについて学ぶ。	同時双方向型授業	介護保険を中心に講義内容を復習する。	4	
3	ノーマライゼーションとユニバーサルデザインについて学ぶ。	同時双方向型授業	ノーマライゼーションとユニバーサルデザインを中心に講義内容を復習する。	4	
4	福祉・リハビリテーション関連用具の導入および家族への対象者に対する介助の指導方法について学ぶ。	同時双方向型授業	福祉・リハビリテーション関連用具の導入を中心に講義内容を復習する。	4	
5	加齢に伴う身体的変化およびフレイル (虚弱) に対する理学療法評価および理学療法介入について学習する。	同時双方向型授業	加齢に伴う身体的変化とフレイルの理学療法評価/介入を中心に講義内容を復習する。	4	
6	神経疾患 (脳卒中等) に対する理学療法評価および理学療法介入について学習する。	同時双方向型授業	神経疾患に対する理学療法評価/介入を中心に講義内容を復習する。	4	
7	整形外科疾患 (骨折等) に対する理学療法評価および理学療法介入について学習する。	同時双方向型授業	整形外科疾患に対する理学療法評価/介入を中心に講義内容を復習する。	4	
8	内科疾患 (慢性呼吸不全等) に対する理学療法評価および理学療法介入について学習する。	同時双方向型授業	内科疾患に対する理学療法評価/介入を中心に講義内容を復習する。	4	
9	脊髄損傷に対する理学療法評価および理学療法介入について学習する。	同時双方向型授業	脊髄損傷に対する理学療法評価/介入を中心に講義内容を復習する。	4	
10	認知症に対する理学療法評価および理学療法介入について学習する。	同時双方向型授業	認知症に対する理学療法評価/介入を中心に講義内容を復習する。	4	
11	通所リハビリテーションおよび訪問リハビリテーションにおける対象者の理学療法評価および理学療法介入について学ぶ。	同時双方向型授業	通所および訪問リハビリテーションの対象者の理学療法について講義内容を復習する。	4	
12	施設入所者および終末期における対象者の理学療法評価および理学療法介入について学ぶ。	同時双方向型授業	施設入所者や終末期の対象者の理学療法について講義内容を復習する。	4	

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

13	[症例提示]対象者に対して必要な評価・支援や福祉・リハビリテーション関連用具の導入などについて検討する。	同時双方向型授業	第 1～12 回講義の内容を復習する。また提示症例に対して必要な支援や福祉・リハビリテーション関連用具の導入に関する知識を予習する。	12
14	[症例提示]対象者に対して必要な評価・支援や福祉・リハビリテーション関連用具の導入などについて検討する。	同時双方向型授業		
15	[症例提示]対象者に対して必要な評価・支援や福祉・リハビリテーション関連用具の導入などについて検討する。	同時双方向型授業		
試	定期試験 到達度評価・評価のポイント参照			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		80	20	0	0	0	0
総合 力 指 標	知識・技術力	60	0	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	20	10	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	定期試験を行い評価する。講義で使用した配布資料や教科書などから出題し、理解度を問う（筆記試験、100 点）。出題方法などは授業時に提示する。	必要に応じて試験の解答を提示し、解説をする。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

備 考

担当教員：◎三科 貴博、川内 翔平

教員の実務経験：医療機関及び介護保険関連施設にて 8 年間の実務経験

実践的授業の内容：理学療法業務を行う問題点を臨床経験に基づく視点から解説し、具体的な対応策を考察し検討する。学生の理解度に応じて授業計画を変更することがある。

同時双方向型授業では Teams を使用予定で、授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推する。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性がある。